



# ちようふ

CONTENTS(主な内容)

新型コロナウイルス関連	4
物価高騰に対する給付金・補助金	5
令和5年 春の叙勲	5
6月の休日診療当番医	15
FC東京青赤ストリートを開催	16

発行：調布市（毎月5日・20日発行）所在地：〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1  
編集：行政経営部広報課 市ホームページ：https://www.city.chofu.tokyo.jp/

市役所代表： ☎042-481-7111

市報ちようふの配布に関する問い合わせは  
市報ちようふ配布コールセンター(配付受託業者(株)小平広告)  
☎042-300-3131



基本構想策定推進市民会議代表者の皆さん

私たち市民会議の提案が  
活かされています。

「ともに生き ともに創る 彩りのまち調布」の実現を目指す  
**第6次総合計画を  
策定しました**

令和5年度から令和12年度までの8年間の調布市のまちづくりの方向を示す「基本構想」と、  
まちの将来像を実現するための主な施策の体系や事業の概要を示した「基本計画」からなる第6  
次総合計画を策定しました。

企画経営課 ☎481-7368

続きは2・3面をご覧ください →

手をつなぐ樹 420



一刻も早い立ち直りを  
今亡き父が晩年に病を患い、  
40年近く前のことだ。  
生命の危険も伴う状況で家族  
の間にも緊張感が走ったが、幸  
い手術は無事に終わり、経過を  
観ることもなくなった。その折に、  
術後の見舞いに来られた父の友  
人の方が、領きながら真情を吐  
露された。「愁眉を開いたな」。  
まだ一抹の不安が残る中、それ  
を耳にした瞬間に心から安堵し  
たことを記憶している。  
爾来私は、何らかの大きな困  
難に直面した際に、幸いにも事  
態の好転が確実になったとき、  
思わずこの言葉を独り言で呟く  
ようになった。  
社会に出て以降、何千人とい  
う方のさまざまな人生に接して  
きた。誰も、長い一生を通じて  
常に順風満帆というわけには  
いかない。また、精励を継続し  
ていても不可抗力というか、自  
己の力ではどうにもならない不  
運な事態に遭遇することもあ  
る。予期せず歯車が狂ったとき、全  
く動じないでいられた人は少な  
い。そして、ひとたび自信を喪  
失すれば、従来たやすくこなせ  
ていたことも思うに任せなくな  
る。本当に難しいものだ。  
さらに近年特に心配なのは、  
20代、30代の若い世代において  
精神的に悩む人が以前より増加  
していることだ。理由は定かだ  
ないが、どの職場でも事情は同  
じらしい。社会経験に乏しく戸  
惑う中で、自分を見失うことも  
ありがちだと思える。  
立ち直りを支援して欲しい。  
たとえ一旦行き詰っても、なん  
とか一刻も早く愁眉を開いて  
もらいたいと切に願っている。

調布市長 長友貴樹